

第1章 調査船の変遷

愛知県水産試験場が明治27年、幡豆郡一色町に設立され養殖・製造業務が開始され、設立6年後の明治33年(1900年)本場を知多郡篠島村に移転、漁撈部門が設立された。漁撈部発足と同時に調査船及び作業船の建造が進められ、今日まで数多くの船舶が建造された。

以下に漁撈部の船舶はもとより養殖部、浅海開発部で使用された船舶も含め、環境部に所属していた調査船も加え整理を行った。

なお、資料は「水産試験場創立100周年記念誌」に掲載された資料を一部加筆・修正した。

表Ⅲ-1-1 愛知県水産試験場歴代試験船及び作業船一覧表

船名	竣工年	就航期間	主 要 目 等								所 属
			船 質	総トン数	主機馬力	補機馬力	長 さ	幅	深 さ	登録番号	
三三丸	明治33年	1900~不明	木	不明	漕帆船	-	43尺	10尺	3.4尺	-	本場(篠島)
築見丸	明治33年	1900~不明	木	不明	漕帆船	-	不明	6.3尺	不明	-	本場(篠島)
三四丸	明治34年	1901~不明	木	不明	漕帆船	-	47.25尺	10尺	3.5尺	-	本場(篠島)
三五丸	明治35年	1902~不明	木	不明	漕帆船	-	45尺	10尺	3.5尺	-	本場(篠島)
三六丸	明治36年	1903~不明	木	不明	漕帆船	-	49尺	10尺	3.6尺	-	本場(篠島)
三七丸	明治37年	1904~不明	木	不明	漕帆船	-	47.8尺	10尺	3.7尺	-	本場(篠島)
愛知丸	明治41年	1908~1919	木	19.00	焼 25.5	-	50.0尺	13.6尺	6.3尺	-	本場(篠島)
敬真丸	大正11年	1922~不明	木	6.00	焼 10.0	-	33.6尺	7.0尺	3.0尺	-	浅海利用研究所(下之一色)
浅利丸	大正11年	1922~不明	木	不明	2	-	15.8尺	3.8尺	1.9尺	-	浅海利用研究所(下之一色)
初代白鳥丸	大正12年	1923~1935	鋼	70.23	デ 130	デ 6×2kw	70.0尺	16.0尺	8.0尺	-	本場(三谷)
金鱈丸	昭和4年	1929~1945	木	11.00	焼 20	-	40.0尺	10.0尺	4.6尺	-	養殖出張所(下之一色)
金竜丸	昭和4年	1929~1945	木	2.00	焼 8	-	32.0尺	6.0尺	2.0尺	-	三河湾養殖作業所(高師)
二代白鳥丸	昭和10年	1935~1945	鋼	269.78	デ 450	6×3kw 30×17kw 50×30kw	36.5m	7.3m	3.3m	-	漁撈製造出張所(三谷)
きんりゅう丸	昭和12年	1937~不明	木	2.36	焼 8	-	31.0尺	6.0尺	2.3尺	-	漁撈製造出張所(三谷)
初代白鷗丸	不明	不明~1951	木	4.00	焼 8	-	不明	不明	不明	-	本場(三谷)
初代海幸丸	昭和19年	1944~1951	木	27.16	デ 90	焼 5×1kw	18.0尺	4.0m	1.8m	AC2-1	本場(三谷)
三代白鳥丸	昭和24年	1949~1953	鋼	158.21	デ 320	デ 60焼 5	29.98m	6.1m	3.05m	AC1-4	本場(三谷)
二代白鷗丸	昭和26年	1951~1960	木	4.33	デ 25	-	11.18m	3.5m	0.85m	不明	本場(三谷)
初代はつかげ	昭和26年	1951~1965	木	1.88	デ 8	-	8.60m	1.67m	0.68m	不明	本場(三谷)
二代海幸丸	昭和27年	1952~1954	木	32.92	デ 120	デ 8	18.99m	4.50m	1.70m	AC2-1020	本場(三谷)
第一なぎさ丸	昭和27年	1952~1958	木	18.47	ブル台船	-	12.00m	4.20m	1.80m	不明	本場(三谷)
第二なぎさ丸	昭和27年	1952~1958	木	18.47	ブル台船	-	12.00m	4.20m	1.80m	不明	本場(三谷)
そよかぜ	昭和28年	1953~1961	木	3.35	デ 25	-	9.95m	2.07m	0.84m	AC3-5676	本場(三谷)
えびす丸	昭和29年	1954~1959	木	3.00	デ 17	-	33尺	6尺	2.5尺	不明	本場(三谷)
第三なぎさ丸	昭和29年	1954~1962	木	16.44	ブル台船	-	15.94m	4.0m	1.33m	不明	本場(三谷)
第五なぎさ丸	昭和30年	1955~1957	木	17.69	ブル台船	-	15.15m	4.12m	1.45m	不明	本場(三谷)
さざなみ丸	昭和30年	1955~1962	木	3.00	デ 17	-	10.00m	1.80m	0.85m	不明	尾張分場(横須賀)
三代海幸丸	昭和31年	1956~1964	木	62.64	デ 180	デ 17	21.10m	4.74m	2.32m	AC2-1450	本場(三谷)
三代白鷗	昭和35年	1960~1969	木	6.50	デ 25	-	12.03m	2.71m	1.01m	AC2-1818	本場(三谷)
初代多幸丸	昭和36年	1961~1968	木	19.98	デ 90	デ 8	16.00m	3.60m	1.60m	AC2-1888	本場(三谷)
初代ちた	昭和37年	1962~1970	木	4.26	デ 20	-	10.80m	2.20m	0.91m	AC3-16940	尾張分場(横須賀-豊浜)
四代海幸丸	昭和39年	1964~1978	鋼	99.65	デ 300	デ 48	23.50m	5.60m	2.50m	AC2-2000	本場(蒲郡)
二代はつかげ	昭和41年	1966~1979	軽合金	2.65	デ 25	-	9.30m	2.06m	0.63m	AC3-51300	本場(蒲郡)
二代多幸丸	昭和43年	1968~1974	木	29.27	デ 170	デ 8	17.98m	4.29m	1.71m	AC2-2424	本場(蒲郡)
四代白鷗	昭和44年	1969~1988	木	7.84	デ 35	-	12.55m	2.80m	1.00m	AC2-5012	本場(蒲郡)
二代ちた	昭和45年	1970~1981	木	4.51	デ 20	-	10.15m	2.20m	0.91m	AC3-31800	尾張分場(豊浜)
初代しらなみ	昭和46年	1971~1987	FRP	48.30	デ 385×2	35×20kVA	18.00m	4.80m	2.30m	AC2-2600	環境部(本場)
五代海幸丸	昭和53年	1978~1990	鋼	88.81	デ 750	120×100×2	24.13m	5.70m	2.50m	AC2-2800	本場(蒲郡)
三代はつかげ	昭和54年	1979~1991	FRP	3.65	デ 35	-	9.95m	2.19m	0.68m	AC3-56720	本場-尾張分場
三代ちた	昭和56年	1981~1998	FRP	3.85	デ 35	-	9.39m	1.99m	0.67m	AC3-35588	尾張分場-本場(蒲郡)
二代しらなみ	昭和62年	1987~2010	FRP	30(新)	デ 455×2	26×20kVA	19.50m	4.60m	2.30m	AC2-5200	環境部(本場)
六代海幸丸	平成2年	1990~	鋼	75(新)	デ 900	120×100×2	31.20m	5.90m	2.49m	AC2-3600	尾張分場(豊浜)
四代はつかげ	平成3年	1991~	FRP	3.9(新)	デ 70	-	9.87m	2.64m	0.90m	AC3-37400	漁業生産研究所(豊浜)
四代ちた	平成10年	1998~	FRP	3.8(新)	デ 70	-	9.87m	2.64m	0.91m	AC3-58770	本場(蒲郡)
へいわ	平成22年	2010~	全軽合金	33(新)	1,080KW×2	37KW40kVA225V	21.80m	4.60m	2.25m	AC2-5600	本場(蒲郡)

(注) -:なし

尾張分場は平成6年度より漁業生産研究所に改称

第2章 調査船と作業船の性能・業績 (平成5年～25年に活躍した船舶)

1 作業船「ちた」(三代目)

昭和56年～平成10年(1981～1998年)

- (1) 進 水 昭和56年(1981年)3月5日
- (2) 造 船 所 蒲郡市(株)ヤマハ蒲郡製造(3)
- (3) 要 目
 - ・船 型：和洋折衷型漁船
 - ・船 質：FRP
 - ・総トン数：3.85トン
 - ・エンジン：ディーゼル35馬力
 - ・無線設備：SSB 1W
 - ・寸 法：長さ9.39m, 幅1.99m,
深さ0.67m
 - ・装 備：自動操舵装置, 魚群探知機
- (4) 建 造 費 9,600,000円
(県費+国費補助)
- (5) 廃 船 平成10(1998年)年3月5日
- (6) 船の特徴, 業績等について

尾張分場在籍中は, 知多沿岸の観測, 藻類増養殖の海上作業に活躍, 本場配備後は自動観測施設の保守点検, 藻場保護水面の海上作業に従事した。



図Ⅲ-2-1 ちた

2 水質調査船「しらなみ」(二代目)

昭和62年～平成22年(1987～2010年)

- (1) 竣 工 昭和62年(1987年)11月30日
- (2) 造 船 所 三重県伊勢市(株)ニュージャパンマリン

(3) 要 目

- ・船 型：ハードチェーンV型船
- ・船 質：FRP
- ・総トン数：30トン(新)
- ・エンジン：主機関, ゼネラルモーターズ社製2サイクル船舶用高速ディーゼルGMSV-92TI型×2基,
定格出力455PS/2170RPM
- ・発電機関：ヤンマーディーゼル社製直列立形単動サイクルディーゼル4JHL-TN×1基, 定格出力26PS/1800RPM
- ・発 電 機：東京電気製造(株)社製3相交流防滴ブラシレス式×1基20KVA
- ・無線設備：無線電話25W
- ・寸 法：全長19.50m, 幅4.60m,
深さ2.30m
- ・性 能：速力, 試運転最大21.4ノット, 航海17ノット, 航続距離(航海速力にて)350海里
- ・装 備：オートパイロット, ジャイロコンパス, 磁気コンパス, 多機能型カラーレーダー(データレコーダ, カラーハードコピー), ロランC航法装置, 速力計(対地, 対水用), 測深機(3周波記録式), データ処理装置, 風向・風速計, プリンター, 油水分離機, SSB送受信機, 船舶電話
- ・航海用具：流向・流速計, 水中照度計, 曳航式水中濁度計, データ収録再生装置, 曳航式蛍光光度計, CST D計, 温度計, プランクトン挙動解析装置, 各種採水・採泥器, 各種プランクトンネット, 巻上機
- ・登録番号：AC2-5200
- ・船舶番号：130013

- ・基本設計・監督：(株) 東京設計研究所

(4) 建造費 180,000,000 円

(5) 廃船 平成 22 年 (2010 年) 6 月 4 日

(6) 船の特徴, 業績等について

水質監視調査, 伊勢湾広域総合水質調査, 化学物質環境調査, 三河湾新生堆積物挙動調査, 水質保全対策調査, 漁場環境改善基礎調査, 水産公害基礎研究, 三河湾栄養塩類溶出実態調査, 赤潮調査, 珪藻赤潮被害防止技術開発試験, 底層調査, 特殊プランクトン調査, 貧酸素水塊調査に従事した。



図Ⅲ-2-2 しらなみ

3 漁業調査船「海幸丸」(六代目)

平成 2 年～ (1990 年～)

(1) 竣工 平成 2 年 (1990 年) 3 月 20 日

進水 平成 2 年 (1990 年) 2 月 9 日

(2) 造船所 (株) 三保造船所

(3) 要目

- ・船型：凹甲板船尾機関型, 第 3 種漁船 漁業調査船
- ・船質：鋼製
- ・総トン数：75 トン (新)
- ・エンジン：主機関, 新潟鉄工所製 900PS × 1000RPM 4 サイクル中速ディーゼル 6NSC-M, 補機関, ヤンマーディーゼル社製 120PS × 1800RPM, 4 サイクル 6CHL-HTN, 発電機：太陽電機製 AC225V100KVA, 推進器, かもめプロペラ製 4 翼固定ピッチ D1800m × P1465m

- ・通信設備：第 1 送受信機, 第 2.3 送受信機, 第 4 送受信機, 主受信機, 補助受信機, ファクシミリ

・寸法：全長 31.20m, 幅 5.90m, 深さ 2.49m

- ・装備：漁撈装置・観測機器 [トロールウインチ, デッキクレーン, ネットホーラー, 自動イカ釣機, 魚群探知機, カラー魚探, CTD 測定装置, 測深儀, ネットウインチ, 水温水深記録装置]

- ・航海用具：ロラン C, GPS, レーダー, ジャイロコンパス, オートパイロット, 風向風速計, ドップラーログ

・登録番号：AC2-3600

・船舶番号：131566

・信号符号：JEHK

- ・基本設計・監督：(社) 漁船協会

(4) 建造費 389,340,000 円

(5) 船の特徴, 業績等について

漁況海況予報事業, 200 海里水域内漁業資源調査における海洋観測業務, 外海調査, 環境部伊勢湾総合水質調査, 資源管理型漁業推進総合対策事業 (マダイ調査, イカナゴ調査), 魚礁設置事業にともなう効果調査, イワシ資源魚種交代調査, 水産資源調査試験 (漁業調査試験, 漁業専管水域内資源調査), 資源管理漁業推進事業等に従事, 現在に至る。



図Ⅲ-2-3 海幸丸

4 作業船「はつかぜ」(四代目)

平成3年～(1991年～)

(1) 竣工 平成2年(1991年)8月30日

(2) 造船所 常滑市(有)大田造船所

(3) 要目

- ・船型：漁船型
- ・船質：FRP
- ・総トン数：3.9トン
- ・エンジン：いすゞUM6BG1TC2ターボ・イン
タクーラー付70馬力
- ・無線設備：船舶無線1W
- ・寸法：長さ9.87m, 幅2.64m, 深さ
0.90m
- ・装備：観測機器, カラー魚探, GPS,
ロラン, ネットホーラー, 巻揚
装置, 油圧操舵装置
- ・登録番号：AC3-37400

(4) 建造費 15,250,000円

(5) 船の特徴, 業績等について

渥美外海域及び湾口域, 伊勢湾・三河湾における資源調査並びに漁業試験。資源管理型漁業調査における稚仔魚放流効果, のり漁場管理における海洋観測, 魚礁効果調査等に従事, 現在に至る。



図Ⅲ-2-4 はつかぜ

5 作業船「ちた」(四代目)

平成10年～(1998年～)

(1) 進水 平成10年(1998年)1月16日

(2) 造船所 常滑市(有)大田造船所

(3) 要目

- ・船型：漁船型

・船質：FRP

・総トン数：3.8トン

・エンジン：いすゞUM6BG1TCX2 70馬力

・無線設備：船舶無線1W

・寸法：長さ9.87m, 幅2.64m,
深さ0.91m

・装備：GPS, 磁気コンパス, カラー魚探,
巻揚装置, 油圧操舵装置

・登録番号：AC3-58770

(4) 建造費 16,380,000円

(5) 船の特徴, 業績等について

伊勢湾・三河湾において, 赤潮・苦潮発生調査, 干潟・藻場での浅海浄化機能調査, 貝類生態・のり養殖調査, 漁場環境管理施設の保守点検等に従事, 現在に至る。



図Ⅲ-2-5 ちた

6 漁業取締・水質調査兼用船「へいわ」

平成22年～(2010年～)

(1) 竣工 平成22年(2010年)3月1日

(2) 造船所 蒲郡市 形原造船(株)

(3) 要目

・船型：ディープVオメガ型高速艇船型

・船質：全軽合金

・総トン数：33トン(新)

・エンジン：主機関, MTU 12V2000M72 1,080
KW×2基

・発電機関：三菱重工 S4S-MPT 37KW 40kVA
225V

・無線設備：国際VHF無線電話, 衛星利用船
舶電話

- ・寸法：全長 21.80m, 幅 4.60m,
深さ 2.25m
- ・装備：GPS コンパス, 磁気コンパス,
多機能型レーダー, DGPS 航法装置,
真風向風速計, 音響測深儀,
船内映像情報配信装置
- ・航海用具：CTD 測定装置, 流向・流速計
(ADCP), 水中照度計, 連続航走
式水温塩分計, 海底面探査シス
テム (サブボトムプロファイラ
ー), 各種採水・採泥器, 各種
プランクトンネット, 巻上機
- ・登録番号：AC2-5600
- ・船舶番号：141211
- ・設計・監督：(有)木原高速艇研究所

(4) 建造費 345,100,000 円

(5) 船の特徴, 業績等について

水質調査及び漁業取締兼用船として建造された。水質調査では, 水質監視調査, 伊勢湾広域総合水質調査, 化学物質環境調査, 三河湾新生堆積物挙動調査, 水質保全対策調査, 漁場環境改善基礎調査, 水産公害基礎研究, 三河湾栄養塩類溶出実態調査, 赤潮調査, 珪藻赤潮被害防止技術開発試験, 底層調査, 特殊プランクトン調査, 貧酸素水塊調査等に従事, 現在に至る。



図Ⅲ-2-6 へいわ